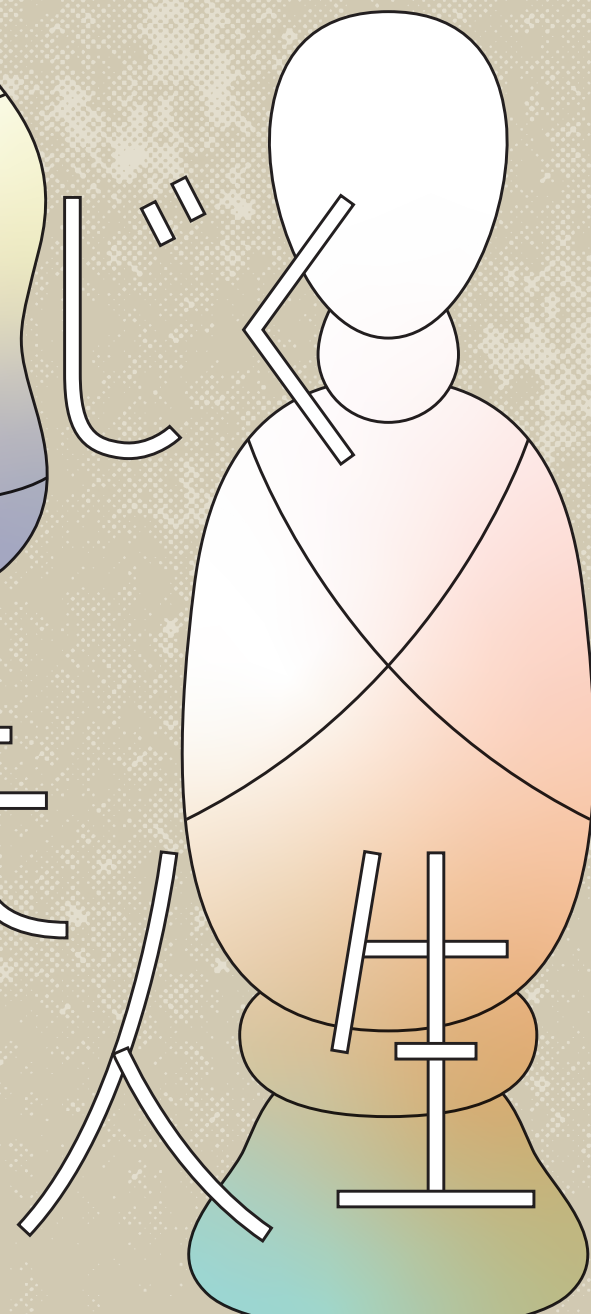
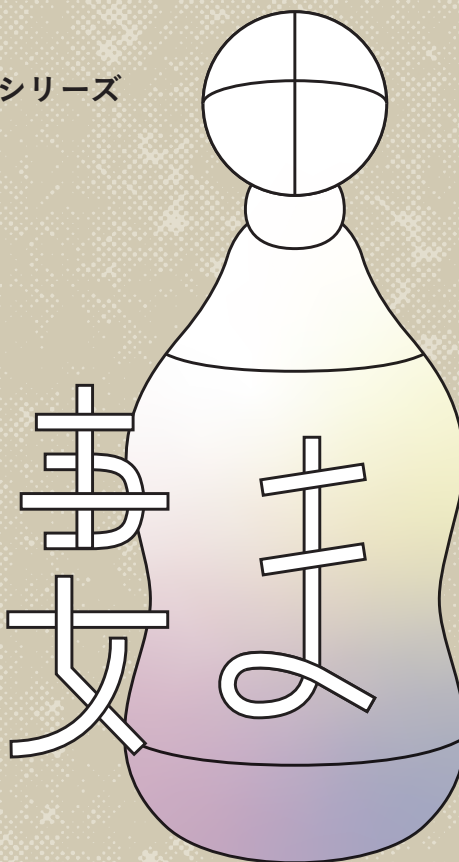
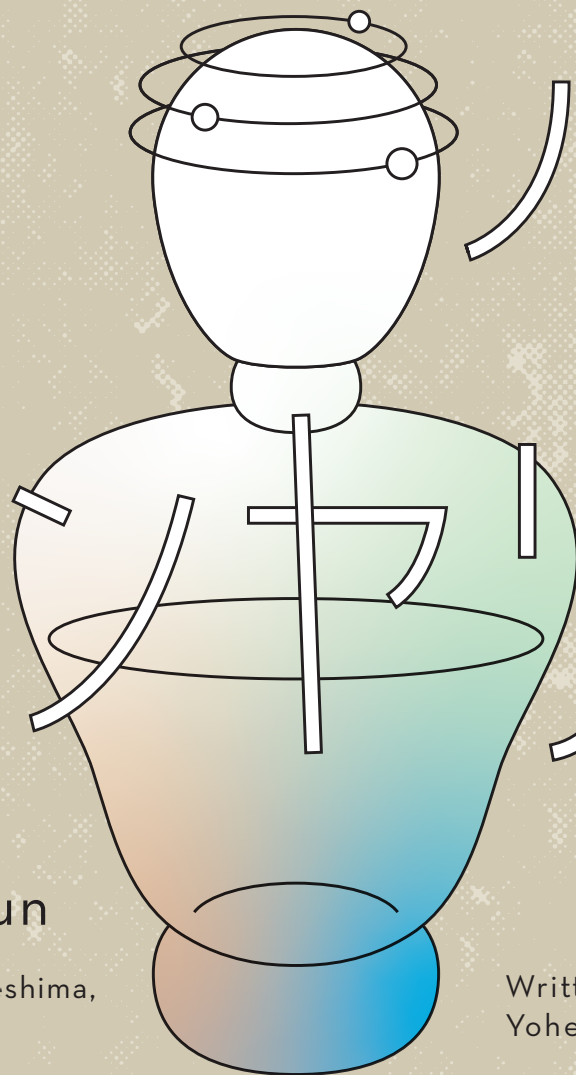
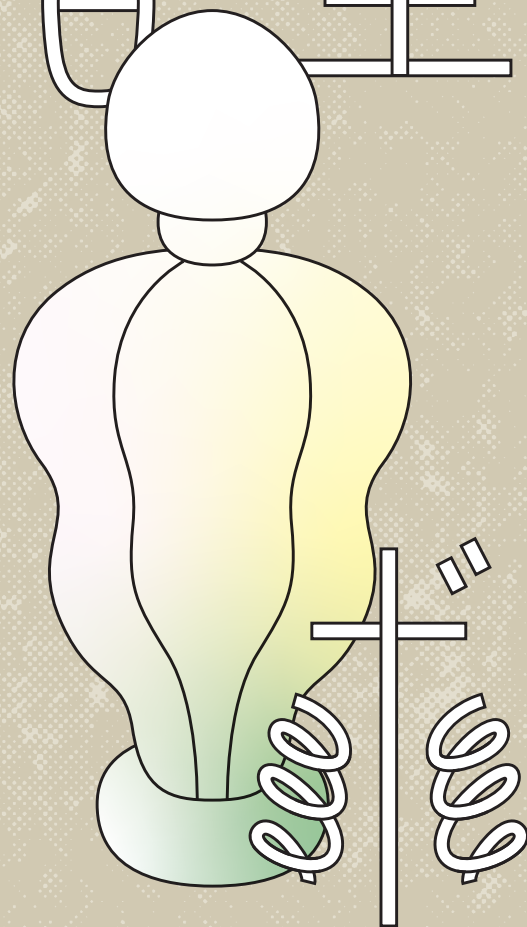


立 林 淳 子 の
otono jun

ほろびて Re: シリーズ



ほろびて



2024. 6. 21 fri — 30 sun

Cast Yuji Yoshimasu, Kazunori Kameshima,
Satoshi Kamimura, Kotaro Yagi

ST Spot

Written & Direction by
Yohei Hosokawa



Satoshi Kamimura

Yuji Yoshimasu

Kazunori Kameshima

Kotaro Yagi

ほろびて Re: シリーズ

おとの じゅん 淳の凄まじくボンヤリした人生

人は変わる。
年月とともに、変わってしまう。
いいことだろうか。悪いことだろうか。
時間は答えを示さない。私だけがそれを決める。
君がもし、変わってしまった私を見つけて、
今の私と昔の私を、記憶の天秤にかけるとしたら、
それはちょっと、哀しいことだ。
ほんとは、ただ、ただ、今の私が、
これから出会うであろうあらゆるものと、
あらゆる出来事に、あらためてよろこびを感じられれば、
それでいいはず、なのだから。
これからの世界に、不安もある。
でもきっと、発見に満ちた、
すばらしい旅になるにちがいない。
すこしは迷惑をかけるかもしれないけど、
すこしは、大目に見てほしい。
いや、あらためて言おう。
私は、
決して、
ボンヤリなど、
してないし。

おとの じゅん
音 淳

過去の思い出に没頭する時、その意識は現在を生きているのだろうか。
我々が認識している実在は、互いの共通理解に基づいたものではある
が、全ては個々の脳を通して見られたものに過ぎない。わたしたちは、
無限の孤独の中で、この“時”を同じ“時”と仮定して生活しているとも
いえる。実のところばらばらの個が、個別に命を燃やして瞬間を重ねて
いるのである。

9年前に再始動したほろびての、最初の作品を作り直します。ずっと
やりたかったけど、なかなか実現できなかった。日本のどこかの片隅
の、振り絞るような人々の、もどかしくて乱暴で寂しい交わりを、また
やるんです。この4人で。やるのです。

細川洋平

2024年06月21日(金)～06月30日(日)

STスポット

作・演出 細川洋平

出演 吉増裕士、亀島一徳、上村聡、八木光太郎

TIME TABLE

06月	21金	22土	23日	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30日
13:00										
14:00										
18:00										
19:30										

※受付開始＝開演40分前／開場＝開演30分前

TICKET (日時指定／全席自由)

一般 前売 3,800円 当日 4,500円

U-25 2,000円 U-18 1,000円

応援チケットA 7,000円 (缶バッジ＋上演台本付)

応援チケットB 6,000円 (缶バッジ付)

※受付順に整理番号を発行し、番号に従って入場いただきます
※車椅子でご来場のお客様はほろびて制作部まで事前にお申し出ください
※U-25、U-18チケットのお客様は受付で年齢確認のできる身分証をご提示ください
※未就学児はご入場いただけません

取り扱い 05月28日(火) 10:00

● ローソンチケット(一般) (Lコード: 35191)

<https://l-tike.com/horobite/>

● 演劇最強論-ing(一般) 【手数料無料 チケット代のみで購入可】

<https://www.engekisaikyoron.net/>

● PassMarket(一般、応援チケットA/B) 【手数料無料 チケット代のみで購入可】

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02r3cf22eir31.html>

● カルテットオンライン (U-25、U-18)

https://www.quartet-online.net/ticket/re1_otono?o=b00003h

ACCESS

STスポット

〒220-0004 横浜西区北幸1-11-15 横浜STビルB1F

TEL: 045-325-0411 (平日11時～17時)

横浜駅から徒歩8分。横浜駅西口を出て、高島屋を左手にして
道沿いに進む。交差点に着いたら、対角線に渡る。少し進むと
左手に野村證券が見えてくるので、そのまま直進する。一つ目の
信号を渡る。目の前の大きなグレーのビルの地下1階。



STAFF

照明・音響プラン: 櫻内憧海(お布団) オペレーション: nujonoto 宣伝美術: 酒井博子(coton design)
宣伝写真: 寺部智英 制作助手: 渡邊綾人 制作: 大橋さつき、ほろびて
協力: ダックスープ、ポエブラス、ナイロン100°C、リボルブ方式、ロロ、遊園地再生事業団
企画・製作: ほろびて 主催: 一般社団法人BOOKSO 助成: 公益財団法人セゾン文化財団

ほろびて

2010年に始動した細川洋平の演劇作品を上演するカンパニー。2015年より小さな舞台空間での創作をはじめ、
さまざまな断片を描いた作品『ぼうだあ』(2020年2月)で一躍注目を浴びる。見過ごされる人々を主題にし、
やがて世界が抱える問題へとフォーカスする作品を多く発表。『物語』の構造を疑いながら、演劇という枠組みの
更新へ向けた思索を続けている。2020年、『あるくはく』で第11回せんがわ劇場演劇コンクールグランプリ、
劇作家賞(細川)、俳優賞(吉増裕士・客演)の三冠を受賞。2024年2月には芸劇eyes参加作品『センの夢見る』
を東京芸術劇場シアターイーストで上演。